

令和8年度 危険物取扱者試験案内

試験当日の注意事項

- 1 試験会場には、写真を貼った受験票を必ず持参してください。
※写真が貼られていない場合は、受験できません。
写真についての詳細は、7ページを参照してください
※受験票が届かなかった場合は、（一財）消防試験研究センター栃木県支部にその旨の連絡を済ませ、写真を忘れずに持参してください。
- 2 上履きを持参してください。（小山会場を除く）
- 3 試験会場は禁煙、車の乗入れも厳禁（周辺の店舗等への無断駐車は絶対にしない）です。
トラブルの発生した場合は、退場を命ずることがあります。
- 4 試験開始30分前に入室してください。試験監督員から試験における注意事項の説明があります。
- 5 試験室では携帯電話の電源を切ってカバン等にしまってください。腕時計も外してカバン等にしまってください。電源を切っても作動する機能のものは、アラーム等の音が発生しないようにしておいてください。
- 6 試験会場には、試験に関する電話照会をしないでください。
- 7 試験会場周辺での試験に関する有料サービス等は、（一財）消防試験研究センター栃木県支部とは一切関係がありません。
- 8 事故等により会場や日程を変更する場合には、栃木県支部からの緊急情報又は重要なお知らせとしてホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始の2時間前までに掲載します。

試験案内は最後までよく読み、記載されている内容に同意した上で申し込みください。

申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとさせていただきます。

各種問合せ及び郵送による申請先



（一財）消防試験研究センター 栃木県支部

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/09totigi/>

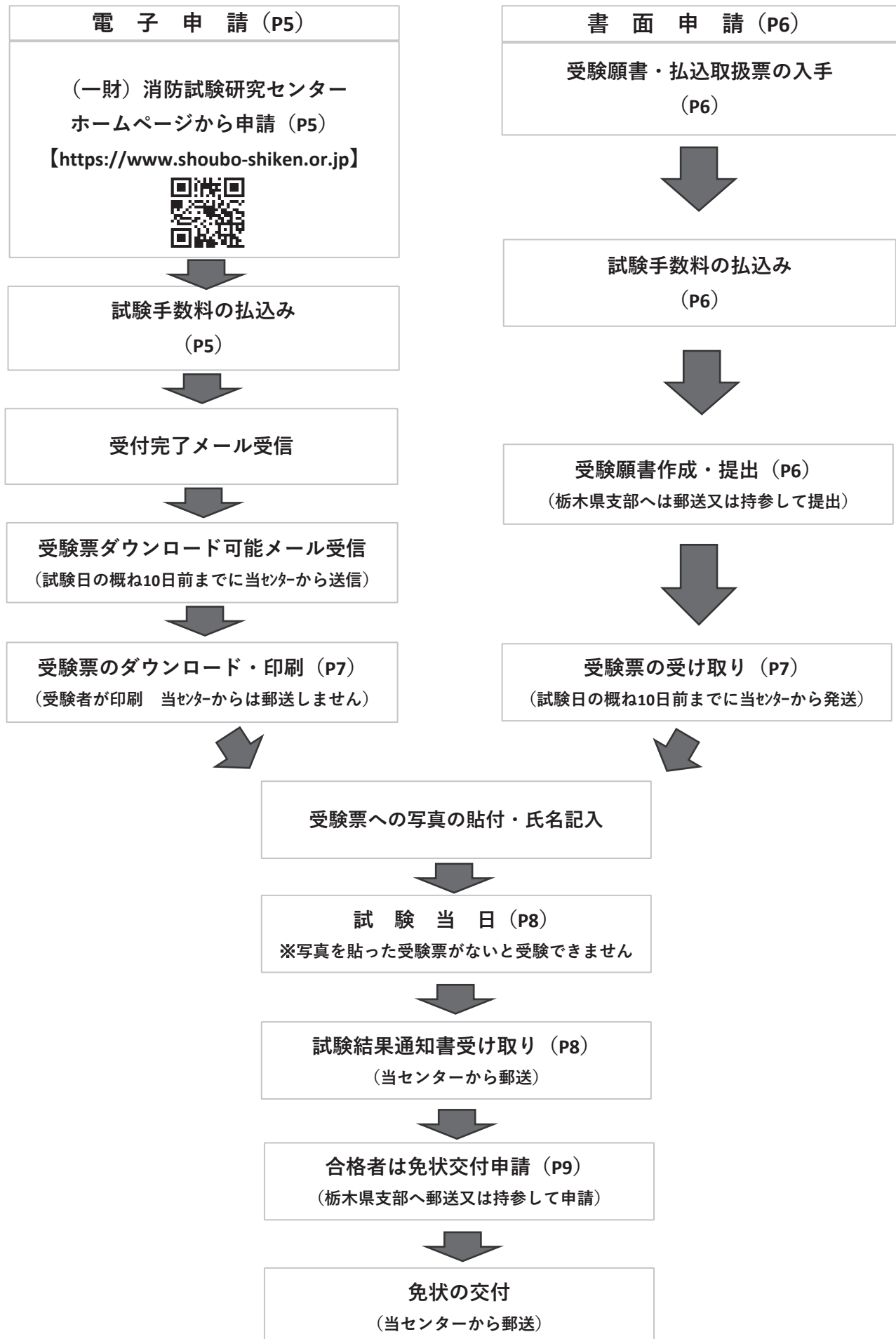


〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16 栃木県自治会館2階
電話028-624-1022 FAX028-624-1658

インターネットによる受験申請（電子申請）が便利です。
詳細は、本文1ページに記載されたアドレス・QRコードから
ホームページをご覧ください。

受験手続から合格後の免状交付申請までの流れ

パソコンスマートフォンから簡単申請



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により栃木県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験日時、種類、受験地等

【試験開始時間等（各回共通）】 入室時間：午前9時00分、開始時間：午前9時30分						
区分	試験種類	試験日	願書申請期間	受験地	合格発表予定日	備考
第1回	全種・全類	令和8年 6月7日(日)	令和8年 4月6日(月) ～4月17日(金)	宇都宮市 (作新学院 高等学校) 足利市 小山市 栃木市 那須塩原市 真岡市	令和8年 6月24日(水)	今年度から、足利市会場を <u>足利工業高等学校に変更</u> します。 お間違いのないようご注意ください。
特別	乙種第4類	令和8年 8月30日(日)	令和8年 6月22日(月) ～7月3日(金) ※ <u>電子申請に限る</u>	宇都宮市 (宇都宮工業 高等学校)	令和8年 9月16日(水)	<u>定員制(800名)</u> のため受付期間を繰上げる ことがあります。
第2回	全種・全類	令和8年 11月1日(日) (注1)	令和8年 9月7日(月) ～9月18日(金)	宇都宮市 (作新学院 高等学校)	令和8年 11月26日(木)	今年度から、足利市会場を <u>足利工業高等学校に変更</u> します。 お間違いのないようご注意ください。
		令和8年 11月8日(日) (注2)	令和8年 9月7日(月) ～9月18日(金)	足利市 小山市 栃木市 那須塩原市 真岡市		
特別	乙種第4類	令和9年 1月23日(土)	令和8年 11月16日(月) ～11月27日(金) ※ <u>電子申請に限る</u>	宇都宮市 (宇都宮工業 高等学校)	令和9年 2月12日(金)	<u>定員制(800名)</u> のため受付期間を繰上げる ことがあります。
第3回	全種・全類	令和9年 3月7日(日)	令和9年 1月4日(月) ～1月15日(金)	宇都宮市 (作新学院 高等学校)	令和9年 3月26日(金)	

注1 11月1日(日)の試験は、宇都宮市会場のみで実施します。

注2 11月8日(日)の試験は、足利市会場、小山市会場、栃木市会場、那須塩原市会場、真岡市会場で実施します。

2 試験手数料（非課税）

試験手数料は下表のとおりですが、払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。

具体的な方法は、「試験手数料の払込方法」（５ページ ９－(1)－イ電子申請の場合）（６ページ ９－(2)－ウ・エ書面申請の場合）をご確認ください。なお、一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。

甲 種	乙 種	丙 種
7, 200円	5, 300円	4, 200円

3 試験実施会場〔14 ページ「17 試験会場案内図」参照〕

試験会場に関する重要なお知らせ

【その１】今年度から、足利市会場は「栃木県立足利工業高等学校」です。

【その２】宇都宮市の特別試験（８月、１月）会場は、「栃木県立宇都宮工業高等学校」です。

受 験 地	試 験 会 場	所 在 地
宇 都 宮 市	作新学院高等学校	宇都宮市一の沢 1－1－4 1
宇都宮市【特別試験】	宇都宮工業高等学校	宇都宮市雀宮町 5 2
足 利 市	足利工業高等学校	足利市西宮町 2 9 0 8－1
小 山 市	白鷗大学大行寺キャンパス	小山市大行寺 1 1 1 7
栃 木 市	栃木工業高等学校	栃木市岩出町 1 2 9
那須塩原市	那須清峰高等学校	那須塩原市下永田 6－4
真 岡 市	真岡工業高等学校	真岡市寺久保 1－2－9

※ 受験願書の「受験地」欄には、太枠内の地名を書いてください。

※ 試験会場はすべて禁煙、車の乗入れも厳禁です。また、会場周辺への無断駐車も厳禁です。

4 危険物の種類、免状の種類及び取扱いができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の３種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第４類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業を行うことができます。

試験の種類		取り扱うことのできる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第 1 類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第 2 類	可燃性固体	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第 3 類	自然発火性物質 及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第 4 類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第 5 類	自己反応性物質	有機過酸化物、硫酸エステル類、ニトロ化合物等
	第 6 類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硫酸等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

5 受験資格

(1) 甲 種

受験資格が必要です。詳しくは 10 ページ「16 甲種危険物取扱者試験の受験資格」をご確認ください。

(2) 乙種・丙種

受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

6 試験種類別の試験科目・問題数・試験時間

種類	試験科目	略称	問題数	合計	試験時間
甲種	①危険物に関する法令	法令	15問	45問	2時間30分
	②物理学及び化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	20問		
乙種	①危険物に関する法令	法令	15問	35問	2時間00分
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		
丙種	①危険物に関する法令	法令	10問	25問	1時間15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識	燃消	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		

7 試験科目の一部免除

- (1) 乙種を受験する方で、既に別の乙種免状をお持ちの方は、「法令・物化」の全部を免除します。
- (2) 火薬類免状をお持ちの方が乙種第1類もしくは第5類を受験する場合で、受験科目の免除申請をした場合は、「物化・性消」の一部を免除します。該当する免状は次のいずれかです。(写し添付)

ア 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

イ 甲種、乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

免除資格者	免除種別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消		10問		
火薬類免状を有し科目の一部免除を申請する方	第1類 第5類	①法令		15問	24問	1時間30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有し、かつ科目の一部免除を申請する方	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

- (3) 丙種を受験する方で、5年以上消防団員として勤務し、かつ消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了（普通教育を修了した方は同等とみなします。）し、科目の免除申請をした場合は「燃焼及び消火に関する基礎知識」を免除します。

なお、科目の免除申請に必要な証明書は、次の2つが必要です。

ア 消防団員として5年以上勤務した証明書（消防団長または市町村長の証明）

イ 基礎教育又は専科教育の警防科を修了（普通教育修了）した証明書（消防学校長の証明）

試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令		10問	20問	1時間00分
②燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		10問		

8 複数受験

- (1) 乙種の受験 2種類を同時に受験できます。(電子申請でも可能です。)
- (2) 受験願書 試験の種類ごとに提出してください。
- (3) 試験時間
 - ア 乙種免状を有している方 1時間10分(35分×2種類)
 - イ 乙種免状をお持ちでない方 2時間45分
 ⇒ (1種類の試験時間2時間)+(他の種類の試験時間35分)+(共通科目を転記する時間10分)

9 受験申請

(1) 電子申請

パソコンやスマートフォンから24時間簡単に申請できる電子申請が便利です！

ア 電子申請の方法

① 電子申請ができる試験種類

全種全類

② 申請方法

(一財)消防試験研究センターのホームページから申請してください。

⇒ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

受付期間は、受付開始日の午前9時00分から受付締切日の午後11時59分までです。

(24時間対応、但し毎週土曜日の午前3時～午前5時はシステムメンテナンスのため申請できません。)

証明書類が必要な試験を申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするためのURLが記載されたメールが届きますので、案内に従ってアップロードしてください。

③ 再受験の電子申請

過去3年以内に受験し同じ試験種類を再度受験する場合は、証明書類等は不要で申請(1種類のみ)ができます。なお入力時に前回の「受験票」若しくは(控)又は「試験結果通知書」が必要です。

④ 団体で行う電子申請

団体登録をしていない(団体コードを取得していない)場合は、事前に(一財)消防試験研究センター栃木県支部(Tel.028-624-1022)までご連絡ください。

イ 試験手数料の払込方法(電子申請の場合)

払込方法は次の4種類から選択できます。

	決済方法	決済内容	手数料	領収書
①	ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式	160円 (税込み) が別途発生	電子申請 システムに より 発行可 (試験日翌日 ～試験日の 翌年度末 まで)
②	コンビニエンスストア決済	セブンイレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ(一部店舗を除く)		
③	クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース		
④	スマホ決済	PayPay メルペイ		

※ 手数料は申請者の負担となります。一旦払込みされた手数料はお返しできません。

※ 主な留意事項 ※

電子申請の前に、以下の内容を必ず確認してください。

- ・パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターのホームページから受験票(PDF)をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンター複合機で印刷できること
- ・資格の証明書類等を添付する申請の場合は、審査結果等を通知する当センターからのメールを必

ず受信できるようにしておくこと

(証明書類に不備があった場合は差し戻ししますので、必ずメールを確認してください。)

- ・資格の証明書類等はPDF又はJPG形式のファイルを準備すること
 - ・既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載に変更がないこと
 - 【電子申請には免状番号(免状の写真下に記載されている12桁の番号)の入力が必要です。
免状番号のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。】
 - ・複数受験を希望する場合は、願書情報入力画面で必ず複数受験の追加申請を選ぶこと
- 詳しくは、(一財)消防試験研究センターHP「電子申請に関するQ & A」をご確認ください。

電子申請に関する問合せ先

(一財) 消防試験研究センター電子申請室 専用電話(全国共通) 0570-07-1000 (有料)

【受付時間】 午前9時00分～午後5時00分(土・日・祝日を除く)

(2) 書面申請

ア 受験願書及び払込取扱票の入手先

- ① (一財)消防試験研究センター栃木県支部
- ② 栃木県内の各消防本部・消防署(願書の受付はできません。)
- ③ 県内有名書店

【宇都宮市】

「落合書店」 宝木店、東武ブックセンター、トナリエ店、イトーヨーカドー店

「くまざわ書店」宇都宮店(FKD宇都宮店内)、宇都宮インターパーク店

(FKDインターパーク店内)、アピタ宇都宮店

【鹿沼市】

「くまざわ書店」鹿沼店(福田屋鹿沼店内)

【大田原市】

「BIG ONE BOOKSTORE」若草店

【佐野市】

「宮脇書店」イオンタウン佐野店

【小山市】

「宮脇書店」小山店

【さくら市】

「BIG ONE BOOKSTORE」さくら店

【足利市】

「くまざわ書店」アシコタウン店

イ 申請に必要な書類等

- ① 受験願書
- ② 当センター指定の「振替払込受付証明書(お客さま用)」「受付願書貼付用」(郵便局で日附印を押されたもの)もしくは2次元コード決済の決済完了番号
- ③ 甲種受験の資格を証明する書類
⇒ 甲種を受験する方のみ
- ④ 危険物取扱者免状(両面)の写し
⇒ すでに免状を有している方のみ
- ⑤ 科目免除を受けるための資格を証明する書類
⇒ 火薬類免状、消防団員としての勤務経験を証明する書類等

ウ 試験手数料の払込方法(書面申請の場合)

払込方法は次の5種類から選択できます。

	決済方法	決裁内容	手数料	領収書
①	払込取扱票	郵便局・ゆうちょ銀行(窓口)	日本郵政の定める手数料	払替払込請求書 兼受領証
②	ペイジー(Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式	160円 (税込み) が別途発生	電子申請 システムに より発行可 (試験日翌日 ～試験日の 翌年度末
③	コンビニエンスストア決済	セブンイレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ(一部店舗を除く)		

④	クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース		まで)
⑤	スマホ決済	PayPay メルペイ		

※ 手数料は申請者の負担となります。一旦払込みされた手数料はお返しできません。

エ 支払方法

① 払込取扱票（郵便局・ゆうちょ銀行用）での支払い方法

- ・「払込取扱票」の金額欄に受験する試験の種類に応じた手数料をご記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください。（ＡＴＭでの払込はしないでください。）
- ・郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した**赤枠部分**「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書Ｂ面の指定の欄に貼り付けてください。

【ご注意】「振替払込受付証明書」を紛失等した場合、当センターでは責任を負えません。

② ２次元コード（ＱＲコード）経由での支払い方法

- ・受験願書２枚目Ｂ面左下に印刷されている２次元コードから支払いサイトに入り、画面遷移に従ってお支払いください。アの払込取扱票は使用しないでください。
- ・電子決済後、決済完了メール文中に記載してある１８桁の「決済完了番号」を必ず受験願書Ｂ面左下に記入してください。

オ 受験願書の提出先

受験願書は栃木県支部（下記）へ持参又は郵送して下さい。

郵送する際、願書は折り曲げないようにご注意ください。受付締切日の消印があるものまで受付けます。

受付時間	所在地
午前９時００分～午後５時００分 （土日・祝日、年末年始を除く）	〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16 栃木県自治会館２階 （一財）消防試験研究センター 栃木県支部

10 受験票 **試験当日、受験票に適正な写真を貼って持参しないと受験できません。**

(1) 送付方法

ア 電子申請の場合

受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、試験当日、必ず持参してください。郵送はされません。

試験日の概ね１０日前までに、当センターから、申請時に入力した電子メールアドレス宛に、受験票がダウンロードできる旨のメールをお送りします。

イ 書面申請の場合

試験日の概ね１０日前までに発送します。試験日の５日前になっても届かない場合には、栃木県支部（Tel.028-624-1022）までご連絡ください。

(2) 写真について（電子・書面申請共通）

ア 受験日前６か月以内に撮影したもの

イ カラー・モノクロどちらでも可

ウ 髪が目にかからない

エ 無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、サングラスを使用しない。

オ 枠なし、無背景で正面から撮影した上三分身像のもの

カ デジタルカメラで撮影されたものは、

写真専用紙で印刷した鮮明な画像に限る。

キ サイズは縦４．５cm×横３．５cm、又はパスポート規格

ク 裏面に、撮影年月日・氏名・年齢を記入

危険物取扱者試験 受験票（控）		危険物取扱者試験 受験票	
受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第４類
カナ氏名	シゲノ タロウ	氏名	試験 太郎
試験日時	平成 23年03月20日 [1/2] 10時00分集合 10時30分試験開始	試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町 1-2-3
試験会場	地下鉄〇〇駅 1番出口徒歩5分	(試験室)	講義室 0101
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
取得免許			
注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。 受験票裏面の注意事項をよくお読みください。		受験の際は、試験会場をご確認ください。 次の場合は受験することができません。 1 受験票がない場合 2 受験票に写真を貼っていない場合 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合 この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込み に必要ですので、大切に保管してください。	

11 試験当日の注意事項

(1) 持ち物

- ア 受験票（縦4.5cm×横3.5cmの写真を貼付したもの）
 - ※ 複数受験の方は、受験する種類ごとに受験票が必要です。
- イ 鉛筆又はシャープペンシル（いずれもHB又はB）
- ウ プラスチック消しゴム
 - ※ 電卓・定規類・計算機等は使用できません。
- エ 上履き（小山会場以外）

(2) 試験会場と集合時間

受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ずご確認のうえ、集合時間までに着席してください。

(3) 試験の方法

種 類	方 法
甲種及び乙種	5肢択一式（マークシート方式）
丙種	4肢択一式（マークシート方式）

(4) その他

- ア 次の場合は受験できません。
 - ① 受験票がない場合
 - ② 受験票に貼付する写真をお持ちでない場合
 - ③ 本人と確認できない写真（マスク、サングラスの着用等）を貼っている場合
- イ 鉛筆又はシャープペンシル以外の筆記具（ボールペン等）を使用して解答カードにマークした場合は、機械が読み取れず0点になることがありますので、絶対に使用しないでください。
- ウ 参考書、法令集等の参照は一切できません。
- エ 携帯電話、スマートフォン、スマートウオッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。腕時計の着用も認められませんので、外してカバン等にしまってください。
- オ 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ失格とすることがあります。
- カ 試験会場外での業者による試験講習案内等は当センターとは一切関係ありません。

12 合格基準

- (1) 全種類において、試験科目ごとの成績がそれぞれ60パーセント以上であること。
- (2) 乙種第1類又は第5類の受験者で、試験科目の一部免除を受けた方については、免除された以外の問題で60パーセント以上であること。

13 合格発表

- (1) 発表日の午前9時00分に（一財）消防試験研究センター栃木県支部（栃木県自治会館）の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者全員（試験科目ごとの正答率を表示）に「試験結果通知書」を郵送します。
- (2) 当センターのホームページへは、発表日の正午に掲載します。
- (3) 試験会場周辺での試験に関する有料サービスは、当センターとは一切関係ありません。

14 試験合格後の免状交付申請について

合格者には、「試験結果通知書」と併せて「免状交付申請書」が郵送されますので、通知書に記載された免状交付申請期間内に、次のものを準備して栃木県支部へ提出（郵送又は持参）し、免状の交付申請をしてください。

なお、免状の交付には１種類ごとに免状交付申請手数料がかかります。

- (1) 免状交付申請書（免状交付申請書と試験結果通知書は切離さないでください。）

印字されている内容で免状を作成します。氏名、生年月日、本籍等に変更がある場合には赤字で訂正してください。

なお、旧姓併記を希望する方は、氏名の欄にかっこ書きで旧姓を記載するとともに、「戸籍抄本」「旧姓記載のある住民票」など公的機関発行の証明書類を提出してください。

- (2) 申請手数料（２，９００円） 次のいずれかの方法でお支払いください。

ア 栃木県収入証紙（使用期限：令和９年３月末）

イ 栃木県電子申請システム

ウ POSレジ

【手数料納付に関する問合せ先】

- ① 栃木県消防防災課（Tel028-623-2132）

⇒ https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/documents/syoubou_cashless.html

- ② （一財）消防試験研究センター栃木県支部（Tel028-624-1022）

⇒ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/09totigi/>

- (3) 既得危険物取扱者免状

既に危険物取扱者免状を取得している方は、必ず申請書と一緒に提出してください。

氏名、本籍等の免状の記載事項に変更があった場合は、交付申請と同時に書換申請が必要です。

- (4) 新規免状送付用封筒（新たに交付される免状をお送りするための封筒）

定形封筒の表面に申請者の住所、氏名を記載し４６０円分（簡易書留郵送料）の切手を貼ってください。裏面には必ず受験番号を記載してください。

15 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

- (1) 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

ア 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

イ 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

- (2) 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

16 甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
〔1〕 大学等において 化学に関する学 科等を卒業した 方（専門職大学 の前期課程を修 了した方） （別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校の 専攻科、中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業 能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、 外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書、卒業 証書又は学位記 注）学科等の名称が 明記されているもの
〔2〕 大学等において 化学に関する授 業科目を15単 位以上修得した 方 （別表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大 学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目 に限る）、大学院、専門職大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、 海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発 総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力 開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 注）修得単位が明 記されているもの
〔3〕 乙種危険物取扱 者免状を有する 方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、製 造所等における危険物取扱いの実務経験が2 年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱 者免状及び 乙種危険物取扱 実務経験証明書
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交 付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4種類	乙種危険物 取扱者免状
〔4〕 修士・博士の学 位を有する方 （別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に 関する事項を専攻したもの（外国の同学位も 含む。）	学 位	学位授与証明書、 学位記、修了証書 又は修了証明書 注）学位を取得して いること、かつ、化 学に関する事項を 専攻したことがわ かるもの

※ 証明書類については、原本又はコピーしたものを添付してください。

〔備考〕

- 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。）
(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
(2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（書式例1を参照してください。）
- 〔2〕の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- 〔2〕の「単位修得証明書（危険物取扱者）」は、書式例2を参照してください。
- 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。書式例3及び受験願書のB面裏の様式を参照、使用してください。
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称								
アイエオ	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科	
	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科	
	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科	
	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科	
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科	
	応用生物工学科		サ		材料開発工学科		生物機能工学科	物質分子学科
	応用生命科学科				材料科学科		生物工学科	物質理工学科
	応用生命工学科				材料科学工学科		生物資源科学科	プロセス工学科
	応用微生物工学科				材料加工学科		生物資源利用学科	分子工学科
	環境生命科学科				材料学科		生物生産科学科	分子システム工学科
カ	環境物質工学科		材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科			
	環境マテリアル学科		材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科			
	キ	基礎理学科		材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科		
機能高分子学科			材料物性工学科	精密物質学科	マ	マテリアル科学科		
機能高分子工学科			材料プロセス工学科	生命理学科		マテリアル工学科		
機能材料工学科		シ	色染工芸学科	製薬学科	ム	無機材料工学科		
機能物質科学科			資源工学科	繊維工学科		冶金学科		
機能分子工学科			資源素材工学科	繊維高分子工学科	冶金工学科			
金属加工学科			システム量子工学科	ソ	総合薬学科	薬科学科		
金属学科			食品科学科		総合薬品科学科	薬学科		
金属工学科		食品学科	ト	素材工学科	薬剤学科			
金属材料学科		食品工学科		塗装科	薬品科学科			
金属材料工学科	食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科			
原子工学科	食料科学科		醗酵生産学科		窯業工学科			
ケ	原子力科	セ	森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科	
	原子力工学科		製剤学科		物質科学工学科		林産工学科	
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科			

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目の講義、演習、実験、実習及び実技を含む。

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称							
ア	αルファ物性工学	エ オ カ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ キ	官能基変換論
	安全管理学		応化・プロセス工学		化工物理学		機器分析
	安全工学		回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
エ	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学	サ	材料解析	セ	生体分子工学	テ	電解反応
	金属材料工学		材料開発工学		生体分子反応		電気材料学
ケ	金属製錬学	シ	材料科学		製鉄製鋼耐火物	ト	電気電子材料科学
	金属組織学		材料加工学		生物機能開発学		電気電子材料学
コ	金属の相変態		材料強度学		生物機能工学	ニ	電極反応論
	金属表面处理		材料強度物性学		生物機能利用学		電子材料
ク	金属物性	ス	材料結晶学	ソ	生物工学	ハ	電子物性
	計算溶液特論		材料工学		生物資源科学		伝熱工学
カ	結晶回折		材料構造解析学	タ	生物資源利用学	ヒ	同位体地球科学
	結晶材料工学		材料精製工学		生物反応工学		毒劇物学
キ	結晶評価工学	セ	材料精密工学	チ	生物物性学	ニ	特殊機能セラミック
	原子エネルギー工学		材料組織学		生物分子科学		毒性学
ク	原子核工学	シ	材料組織形成論	テ	生物薬学	ハ	毒物学
	原子力工学		材料熱力学		精密材料物性		土壌学
コ	原子炉材料学	ス	材料反応学	ト	精密素材工学	ニ	塗装学
	原子炉燃料		材料物性学		精密分離工学		塗料工業科学
カ	高温材料	セ	材料物理工学	チ	精密有機合成特論	ハ	ニューセラミック学
	高温反応工学		材料プロセス設計		製薬学		燃焼学
ケ	光学活性体合成論	シ	錯塩基及び酸化還元	テ	生理活性物質学	ニ	燃焼工学
	高機能材料特論		産業廃水処理		精錬漂白論		燃焼熱工学
コ	高機能材料プロセス特論	ス	色彩工学	ト	石油開発工学	ハ	燃焼物理科学
	工業火薬学		色染実験		石油生産工学		粘土工学
ク	工業材料	セ	システム安全工学	チ	接合学	ハ	燃料工学
	工業排水処理		焼結固体反応論		接着及び接着剤	ニ	燃料工業
カ	工業爆薬学	シ	焼成材料	テ	接着学		燃料燃焼潤滑論
	工業反応速度論		醸造学		セメント工学	ハ	燃料燃焼論
ケ	工業微生物	ス	醸造工学	ト	セラミック科学		燃料分析学
	工業分析		醸造工業概論		セラミック基盤材料	ニ	農薬学
コ	格子欠陥	セ	状態方程式特論	チ	セラミック工学		バイオテクノロジー
	公衆衛生学		触媒工学		セラミック材料学	ハ	バイオプロセス工学
ク	高重合反応	シ	触媒設計	テ	セラミックス概論		培養工学
	合成鉱物		触媒反応工学		セラミックス材料工学	ニ	爆発工学
カ	抗生物質	ス	食品衛生学	ト	セラミックス電子材料		薄膜材料工学
	厚生薬学		食品栄養学		セラミックプロセッシング	ハ	醗酵学
ケ	合成薬品製造学	セ	食品科学	チ	セルロース科学		醗酵工学
	構造用金属材料		食品工学		繊維高分子工学	ニ	醗酵工業論
コ	酵素利用学	シ	食品工業微生物学	テ	選鉱学		醗酵生産学
	鋼中非金属介在物	ス	食品分析学		先端材料物性特論	ハ	パルプ学
ク	鉱物学	セ	植物分子生物学	ト	相平衡論		パルプ工学
	高分子科学		人工結晶		相変態論	ニ	半導体工学
カ	高分子学	シ	人造繊維工学	チ	素材工学		半導体材料
	高分子工学		新薬論		耐火物概論	ハ	半導体デバイス工学
ケ	高分子合成	ス	水質学	テ	耐熱材料特論		反応工学
	高分子構造		製剤学		耐熱材料特論	ニ	反応性物質材料
コ	高分子固体構造論	セ	製剤工学	チ	多結晶材料工学		反応操作
	高分子コロイド科学		製紙科学		単位操作	ハ	反応速度論
ク	高分子材料学	シ	製紙学	テ	単位反応学		非金属材料
	高分子反応		製紙工学		単結晶材料工学	ニ	非晶質科学
カ	高分子物性論	ス	製造薬学	ト	蛋白質工学		微生物遺伝学
	固相変態論		生体機能工学		超高温材料	ハ	微生物学
ケ	固体反応	セ	生体機能電気科学	チ	調剤学		微生物機能学
	固体表面科学		生体機能利用学		鉄鋼材料学	ニ	微生物工学
コ	固体物性論	シ	生体工学	テ	鉄鋼表面处理		非鉄材料学
	固体平衡論		生体高分子学		鉄冶金	ハ	非平衡論
ク	コロイド学	ス	生体触媒学	ト	定性分析		表面・界面工学
	細胞培養学		生体光反応学		定量分析	ニ	表面工学
サ		セ		チ	電解製錬工学		
						ハ	

ヒ	表面分析 肥料学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	平衡論 平衡・反応論	メ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ヨ	窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	モ	有機機器分析 有機機能性材料	リ	
		マ	膜機能工学 マテリアル工学	ヤ		レ	
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ユ			

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第〇〇号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

フリガナ 氏 名	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
生年月日	年 月 日
学科・コース（専攻）	
入学年月日	年 月 日
卒業年月日	年 月 日
学校教育法第124条で定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号	年 月 日 号
課程の区分	（ 〇〇〇〇 ） 課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。

年 月 日

専修学校の所在地 _____

専修学校の名称 _____

証明者（専修学校の代表者氏名・役職名） _____ 印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていなければ自由です。

書式例 2 単位修得証明書（危険物取扱者）

〇〇第〇〇号

単位修得証明書（危険物取扱者）

年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科

年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇

年 月 日生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	計	〇〇

上記のとおり証明する。

年 月 日

学校の所在地 _____

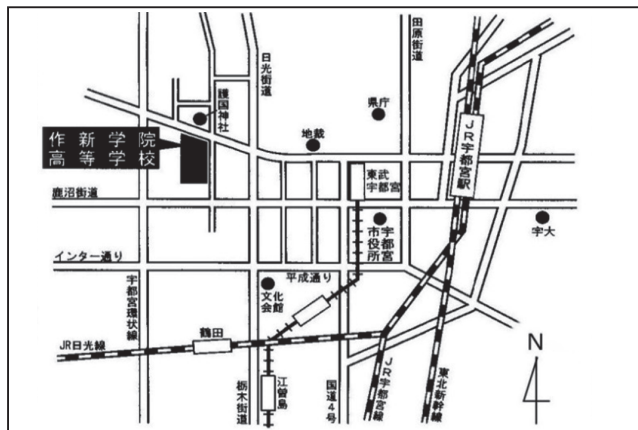
学校の名称 _____

証明者（学校の代表者氏名・役職名） _____ 印

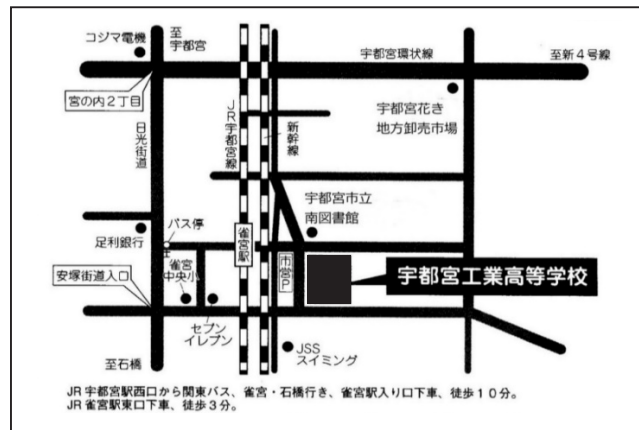
《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていなければ自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

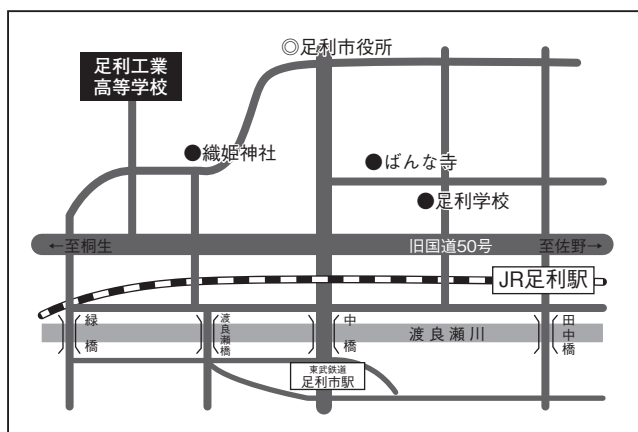
17 試験会場案内図



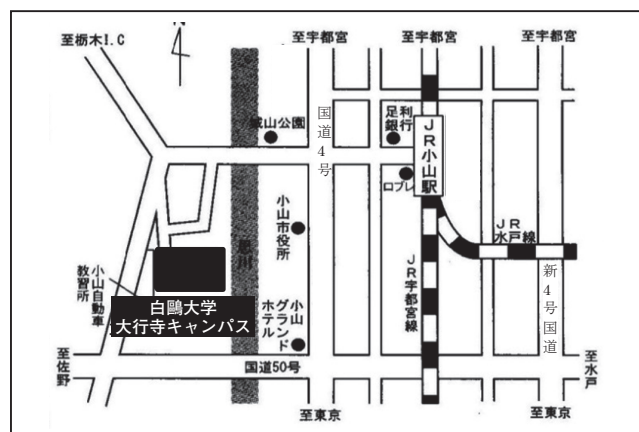
宇都宮市【作新学院高等学校】



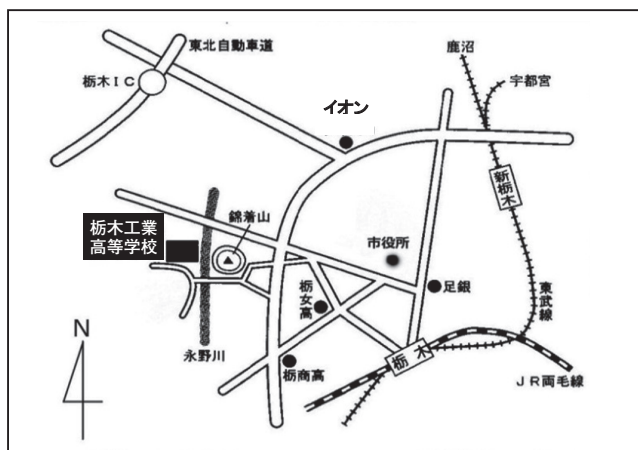
宇都宮市【宇都宮工業高等学校】



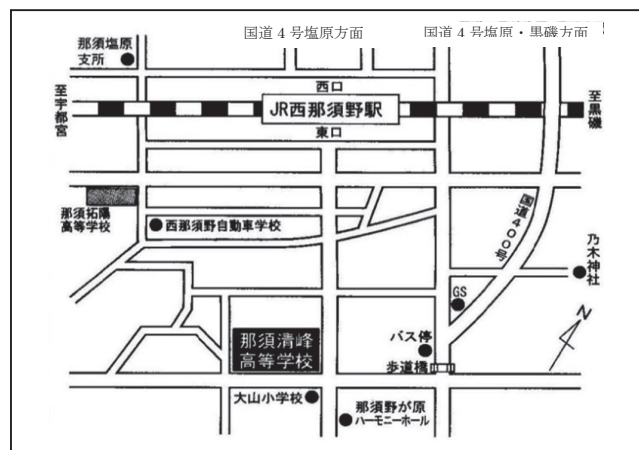
足利市【足利工業高等学校】



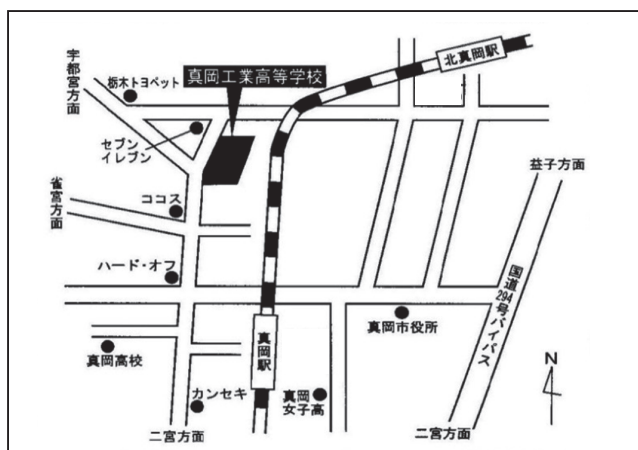
小山市【白鷗大学大行寺キャンパス】



栃木市【栃木工業高等学校】



那須塩原市【那須清峰高等学校】



真岡市【真岡工業高等学校】

受験する方へ

試験会場内はすべて禁煙、車の乗入れも厳禁です。

また近隣の方々へのご迷惑となりますので、会場周辺に無断で駐車しないでください。

無断駐車等でトラブルが発生した場合には試験を中断していただくことがあります。

18 受験願書の記入要領

- ・ A 面及び B 面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- ・ 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- ・ 書き損じた場合は、横 2 本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
- ・ 年月日を記入するすべての欄は、1 桁の数字の場合、0 を前に付けてください。

A 面

①	都道府県名欄には「栃木（受験をする都道府県名）」と記入してください。
②	申請日を記入してください。
③	左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1 マスを使用してください。
④	左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤	該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の場合は、「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書 B 面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥	郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合には、1 マスに入れてください。
⑦	電話番号の局番等の間は 1 マス使用して「-」でつなげてください。
⑧	勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で連絡の取りやすい電話番号を記入してください。
⑨	試験日を記入してください。
⑩	受験する試験の種類に○を付けてください。乙種の受験者は、受験する危険物の類を記入してください。
⑪	試験案内の受験地を記入してください。
⑫	甲種の受験者は、受験資格を試験案内の「15 甲種危険物取扱者試験受験資格」の表に記載された「願書資格欄記入略称」により記入するとともに、証明書類を受験願書 B 面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 乙種、丙種の受験者は、記入する必要はありません。
⑬	乙種第 1 類又は第 5 類の受験者で火薬類免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを受験願書 B 面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は○を付け、乙種免状のコピーを受験願書 B 面裏の既得危険物取扱者免状貼付欄にのり付けしてください。 丙種危険物取扱者の受験者で、5 年以上消防団員として、かつ、消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したものに該当する方は○を付け、消防団員歴証明書（コピー可）と消防学校の教育修了証明書（コピー可）を、受験願書 B 面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。
⑭	⑩の他に同一の支部で試験を受ける場合は、記入してください。
⑮	書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可） なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。
⑯	3 か月以内に①の都道府県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、乙種試験に係る危険物の類、試験日を記入してください。
⑰	現在の職業等で、該当する箇所に○を付けてください。

- ⑱ 危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。
- ⑲ 危険物取扱者免状の交付を既に受けている場合は、該当する種類の元号コード（昭和3：平成4：令和5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。なお、免状のコピー（表面と裏面）を受験願書B面裏にのり付けしてください。
- ⑳ 免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。

B 面

- ① 払込用紙で払込みの場合
 所定の払込用紙を使って、試験手数料（甲種 7, 200円、乙種 5, 300円、丙種 4, 200円）を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。
 郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印を確認し、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」を全面のり付けしてください。
 注：本人控えの「振替払込請求書兼受領書」では受付できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」を紛失しても、当センターで責任を負えません。
- ② 2次元コード経由で払込みの場合
 決済完了メールに記載されている決済完了番号（18桁）を記入してください。

B 面裏

- ③ 「実務経験」の受験資格で甲種を受験する方は、会社等の証明が必要です。会社印及び証明者の印の押印を忘れずに受けてください。他の証明書でも証明内容が充足していれば支障ありません。
 他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。
 既に危険物取扱者の免状を交付されている方は、そのコピーをのり付けしてください。

確認事項（すべての記入が終わったら）
 試験日、試験種類、受付締切日を確認のうえ、折り曲げずに必要書類を
 消防試験研究センター栃木県支部に郵送又は持参してください。

問合せ先
 一般財団法人 消防試験研究センター栃木県支部
 〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16 栃木県自治会館2階
 TEL028-624-1022 fax028-624-1658

〒320-0032
 宇都宮市昭和1-2-16
 栃木県自治会館2階
 （一財）消防試験研究センター
 栃木県支部 行

- ※ 消防試験研究センター栃木県支部に郵送する際、宛名ラベルとして切り取ってご使用ください。
 願書は折り曲げずに郵送してください。受付最終日の消印があるものまで受付けます。
- ※ 郵送の際には郵便料金を確認してください。料金が不足していると受取れません。

危険物取扱者試験受験願書（全国共通）

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	① 栃木	申請日	② 令和 07 年 00 月 00 日
申請者氏名	③ トチキナ	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください	サフロウ		
氏名	④ 氏 栃木	本籍	三郎	都道府県	09
生年月日	⑤ 大昭和 19 年 00 月 00 日生	本籍	栃木	都道府県	09
郵便番号	⑥ 320-0032	必ず記入してください	自宅電話番号又は携帯電話番号	⑦ 028-624-1022	
住所	⑧ 栃木県宇都宮市昭和1-2-16 昭和ハイツ321号			勤務先名又は学校名 株〇〇石油 連絡先電話番号(携帯電話も可) 028 - 624 - 1022 内線()	

試験日	⑨ 令和 07 年 00 月 00 日	※1 メールアドレス(任意)	@
試験種類	⑩ 甲種 第 類	他の都道府県での受験申請状況	
受験地	⑪ 宇都宮市	都道府県コード	試験種類
甲種受験資格	⑫ 実務経験2年	試験日	月 日
科目免除	⑬ 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を(受ける)(受けない) ⑭ 種危険物取扱者免状の交付を(受けている)(受けていない) ⑮ 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に(該当する)(該当しない)	⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
同時に複数の試験を受ける者は、願書以外に受ける種類を記入する	⑭ 甲種 第 類	該当する職業等に1つだけ○を記入してください ① 高校生 ② ③ 以外の学生、教育・研究機関 ④ ガソリンスタンド ⑤ 化学工業 ⑥ 危険物の卸売業、小売業 ⑦ 危険物の運送業 ⑧ 危険物を扱うその他の事業 ⑨ 公務員 ⑩ 警備業 ⑪ ビル管理業 ⑫ その他	

⑮ 免状取得の有無について記入してください	⑯ 免状番号	⑰ 元号コード	⑱ 免状交付年月日	⑲ 交付番号	⑳ 入力番号	㉑ 交付知事	㉒ コード	(記入上の注意)
⑮ 有 無	⑯ 0000 0000 0000	㉑ 甲	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	● 免状番号は、免状が真正に記載されている番号です ● 枠は該当するものに○を記入してください ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください ● ※印は、記入しないでください
⑮ 乙1	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 乙1	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	
⑮ 乙2	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 乙2	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	
⑮ 乙3	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 乙3	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	
⑮ 乙4	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 乙4	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	
⑮ 乙5	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 乙5	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	
⑮ 乙6	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 乙6	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	
⑮ 丙	⑯ 00 年 00 月 00 日 00000	㉑ 丙	㉒ 年 月 日	㉓ 00000	㉔	㉕	㉖	

※団体コード
※受付機関コード
※分 類コード
※

(A面)
 試験センター発行 507

様式第25 (第57条関係)

危険物取扱者試験受験願書

※

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	栃 木		申請日	0 7 年 0 0 月 0 0 日	
申請者氏名	フリガナ トチ ギ			サブロウ			
	栃 木			三 郎			
生年月日	大・昭・和 0 4 年 0 0 月 0 0 日生			本籍	栃 木 都道府県		
郵便番号	3 2 0 - 0 0 3 2			自宅電話番号又は携帯電話番号	028-624-1022		
住所	栃 木 県 宇 都 宮 市 昭 和				勤務先等連絡先		
	1 - 2 - 1 6				(株)〇〇石油		
	昭 和 ハ イ ツ 3 2 1 号				連絡先電話番号 028 - 624 - 1022 内線()		

+

試験日	0 7 年 0 0 月 0 0 日
試験種類	甲 乙 丙 種 一 第 類
受験地	宇 都 宮 市
甲種受験資格	実務経験2年
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける)
	乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている)
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)

※1

◎払込用紙で払込みの場合

①

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)
(郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人) この受付証明書を日附印を押印し、依頼人に交付してください。

千 百 十 万 千 百 十 円

※ 払込金額

加入者名 日附印を押印

一般財団法人 消防試験研究センター

00170-3-136220

※ ご依頼人住所

氏名

(電話)

(郵便局へ)⇒日附印を押印

日 附 印

貼ってください

受験願書に

日附印なき証明書は無効 (払込人や消防試験研究センター)

(承認番号東証第 2015 号)

※受付欄

◎2次元コード経由で払込みの場合

※令和7年4月1日からご利用いただけます。

+

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。



- 2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。
- 2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
- この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号 (18桁)

※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

②

備考

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、外国籍の者は、「外国籍」と記入すること。

3 ※印の欄は、記入しないこと。

※団体コード

※受付機関コード

※分類コード

※

(B面)

18

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	高松	32	愛媛	38	大分	44
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	33	高知	39	宮崎	45
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	34	福岡	40	鹿児島	46
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	35	佐賀	41	沖縄	47
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	36	長崎	42	外国籍	99

③ 乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	栃木 三郎		04 年 00 月 00 日生
取り扱った危険物	第 4 類	品名	灯油
取り扱った期間	令和 2 年 4 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで (2 年 00 月)		
製造所等の区分	・製造所 <u>貯蔵所</u> ・取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明年月日	令和 7 年 00 月 00 日		
事業所名	株〇〇石油		
証明者	役職	代表取締役	
	氏名	宇都宮 太郎	
	電話	028 - 624 - 1022	

会社印

証明者の私印

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第13条の3第4項第1号及び第2号）。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

表

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

(B面裏)